

漁況情報 号外

平成27年10月2日発行

岩手県水産技術センター

URL : <http://www2.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel:0193-26-7915 / Fax:0193-26-7920 / E-mail:CE0012@pref.iwate.jp

《10～12月までのスルメイカ漁況の見通し》

- ・来遊量は前年を下回る。
- ・魚体は前半は前年より小さく、後半は前年並み。

9月28日に、国立研究開発法人水産総合研究センターから、「平成27年度 第2回 太平洋スルメイカ長期漁海況予報」が発表されましたので、予報の概要を紹介します。

*****今後の見通し抜粋*****

常磐～三陸周辺海域(いか釣、底びき網、定置網)

- (1) 来遊量: 前年並み。
- (2) 漁期・漁場: 対象期間を通して漁場となる。
- (3) 魚体の大きさ: 前年並み。

○今後の見通しの説明(抜粋)

常磐～三陸海域の漁獲対象資源は、常磐～三陸海域に分布する群と、道東太平洋海域から南下する群が主体と考えられる。一斉調査の常磐～三陸海域におけるCPUEは前年を下回り、7月～8月の青森白糠以南における小型いか釣り船のCPUEも前年並み～下回ったことから、常磐～三陸海域に分布する群は前年を下回ると考えられる。一方、道東太平洋海域の来遊量も前年を下回ると予測され、さらに、水産総合研究センターの海況予測システム(FRA-ROMS)によると、10月中～下旬に襟裳岬の沖合に暖水域が形成されると予測されるため、道東太平洋海域からの来遊が妨げられると考えられる。以上のことから、常磐～三陸海域の来遊量は前年を下回ると予測される。魚体の大きさは、調査結果から前半は前年よりも小さく、後半は概ね前年並みになると考えられる。

今後の見通し(平成27年10月～12月)のポイント

常磐海域～オホーツク海におけるスルメイカの来遊量は、津軽海峡～道南太平洋海域を除き、概ね前年を下回る。海域別の予報については以下の通り。

道東太平洋海域:

来遊量は前年を下回る。
魚体は前年並み。

根室海峡～オホーツク海:

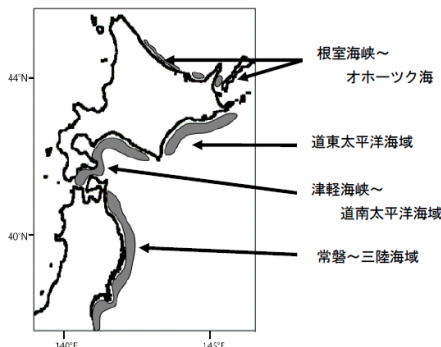
来遊量は前年を下回る。
魚体は前年より小さい。

常磐～三陸海域:

来遊量は前年を下回る。
魚体は前半は前年より小さく、
後半は前年並み。

津軽海峡～道南太平洋海域:

来遊量は前年並み。
魚体は前年並み。



詳しくは下記ホームページをご覧ください。

URL : <https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr27/20150928/index.html>